

## 地域研究・社会学コースのカリキュラムについて

### (1) 地域研究・社会学コースの教育目的とカリキュラム

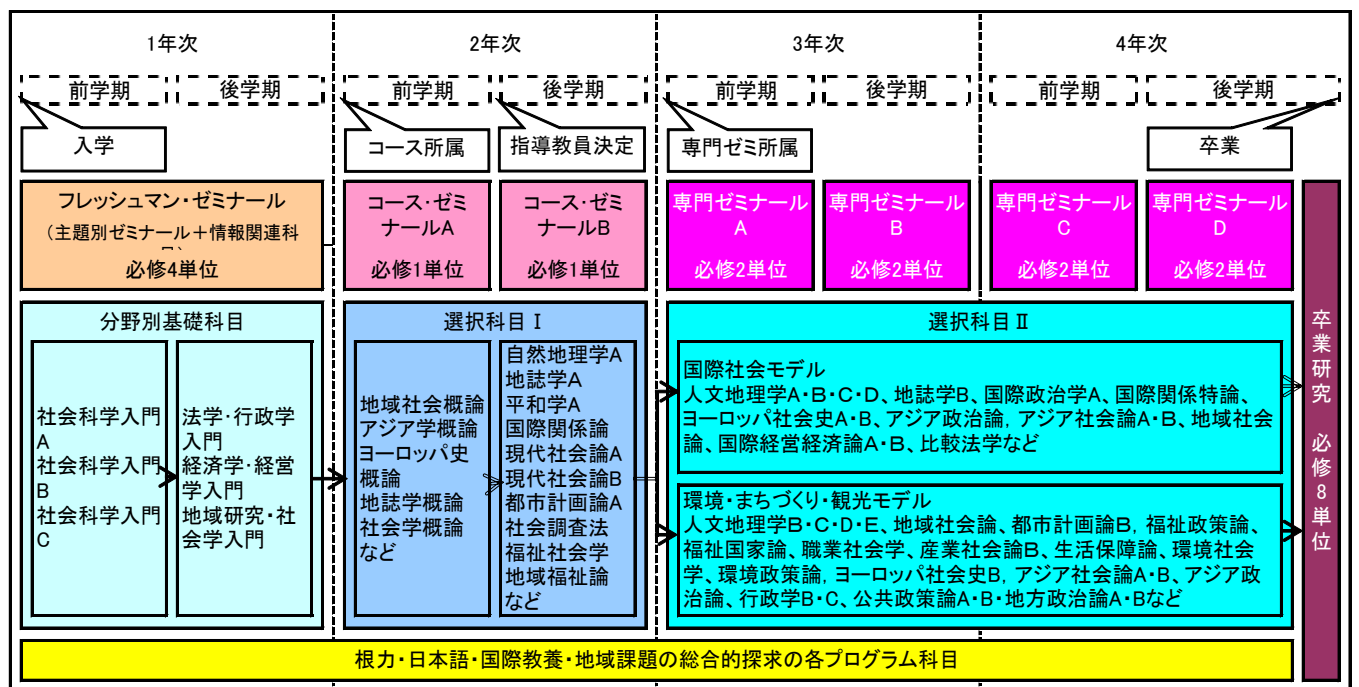
現実の世界が抱える様々な問題を、グローバルな文脈で考えながら、その総合的把握の場としての「地域」という視点から探求する能力を養います。

コース所属が決まった2年次前学期では、地域社会概論、アジア学概論のほか、ヨーロッパ史概論、社会学概論など、地域研究・社会学の主要の分野を中心に、様々な分野の専門的な知識や考え方を身につけます。専門ゼミナール所属が決まった2年次後学期には、地誌学、平和学、国際関係論、福祉社会学など、地域研究・社会学の様々な分野の専門的な知識や考え方を、バランスよく、かつ順序よく学習していきます。また、前後学期のコース・ゼミナールで、身につけた知識を応用できるよう訓練します。

専門ゼミナールが始まる3年次からは、人文地理学、国際政治学、国際関係論、地域社会論、都市計画論、社会福祉論、地域福祉論、環境社会学、福祉国家論、アジア社会論、ヨーロッパ社会史のいずれかのゼミに所属して、自分がゼミナールで専攻した分野をさらに広く深く学習します。4年次からは本格的に卒業研究に取り組みます。自分が専攻した分野の専門知識等を応用しつつ、かつ3年次までの地域研究・社会学の幅広い学習成果を土台にして、特定のテーマに関する卒業論文を完成させることになります。

卒業生には、大学院への進学、国内外の行政、企業、そしてNPO（非営利組織）等において、観光・福祉・環境・市民協働といった課題で強みを発揮できる人材としての活躍が期待されています。

### (2) 地域研究・社会学コースのカリキュラムマップ



※ 3年次以降の2つのモデルは、履修の具体例です。

(3) 地域研究・社会学コースの学年ごとの達成基準及び対応授業科目表

		達成基準	対応授業科目
1 年 次	前 学 期	① 学科での学修に必要な社会科学の基礎的な知識や考え方を身につけている。 ② 学科での学修に必要な情報の収集・発信、議論などの基礎的な技法を身につけている。	① 社会科学入門A・B・C ② フレッシュマン・ゼミナール
	後 学 期	① 社会科学の諸分野の概要を説明できる。 ② 学科での学修に必要な情報の収集・発信、議論などの基礎的な技法を応用できる。	① 地域研究・社会学入門 ② フレッシュマン・ゼミナール
2 年 次	前 学 期	① 地域研究・社会学の主要の分野を中心に、様々な分野の専門的な知識や考え方を身につけている。 ② 地域研究・社会学の学修に必要な専門的な技法を身につけている。	① 【選択科目Ⅰ】の諸科目 ② コース・ゼミナールA
	後 学 期	① 地域研究・社会学の諸分野を中心に、様々な分野の専門的な知識や考え方を身につけている。 ② 地域研究・社会学の学修に必要な専門的な技法を応用できる。	① 【選択科目Ⅰ】の諸科目 ② コース・ゼミナールB
3 年 次	前 学 期	① 地域研究・社会学の諸分野を中心に、自らの専門分野に関連する様々な分野の知識や考え方を身につけている。 ② 自らの専門分野に関連する知識、考え方、技法を身につけている。	① 【選択科目Ⅱ】の諸科目 ② 専門ゼミナールA
	後 学 期	① 地域研究・社会学の諸分野を中心に、自らの専門分野に関連する様々な分野の知識や考え方を応用できる。 ② 自らの専門分野に関連する知識、考え方、技法を応用し、卒業研究の準備に取りかかることができる。	① 【選択科目Ⅱ】の諸科目 ② 専門ゼミナールB
4 年 次	前 学 期	① 地域研究・社会学の諸分野のうち、自らの専門分野に関連する分野の知識や考え方を応用し、学問的関心を深化させながら、地域社会と関連する諸現象を説明できる。 ② 自らの専門分野に関連する知識、考え方、技法を応用し、特定の研究課題についての探究を進めることができる。	① 【選択科目Ⅱ】の諸科目 ② 専門ゼミナールC
	後 学 期	① 地域研究・社会学の諸分野のうち、自らの専門分野に関連する分野の知識や考え方を応用し、学問的関心を深化させながら、地域社会と関連する諸現象を説明できる。 ② 自らの専門分野に関連する知識、考え方、技法を応用し、特定の研究課題についての探究を卒業研究としてまとめることができる。	① 【選択科目Ⅱ】の諸科目 ② 専門ゼミナールD・卒業研究

※「フレッシュマン・ゼミナール」とは、「主題別ゼミナール」と「情報関連科目」を合わせた呼称です。